



SHIMANO

株主のみなさまへ

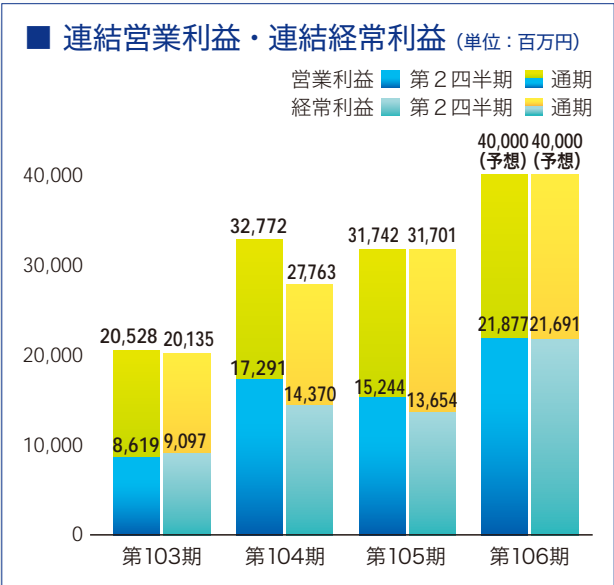
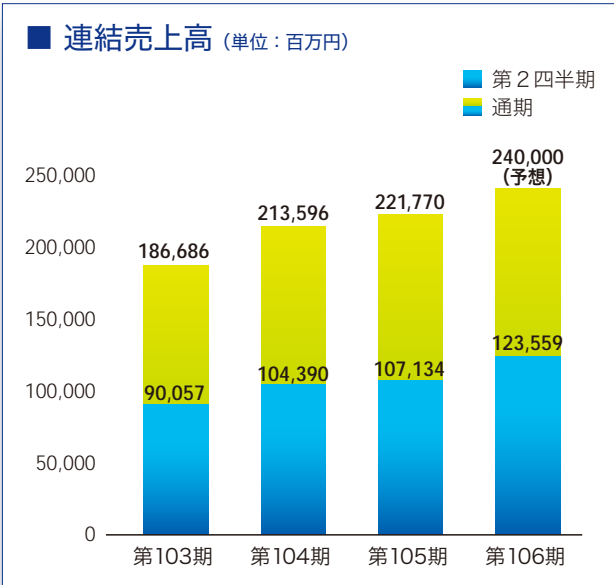
Vol. **35**

株主通信 第106期 第2四半期

2012年1月1日～2012年6月30日

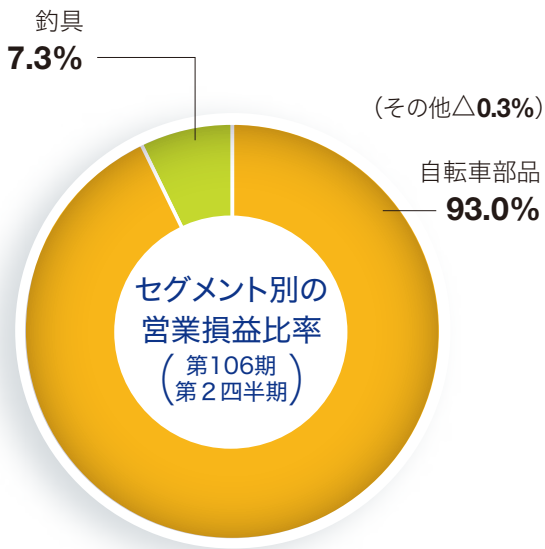
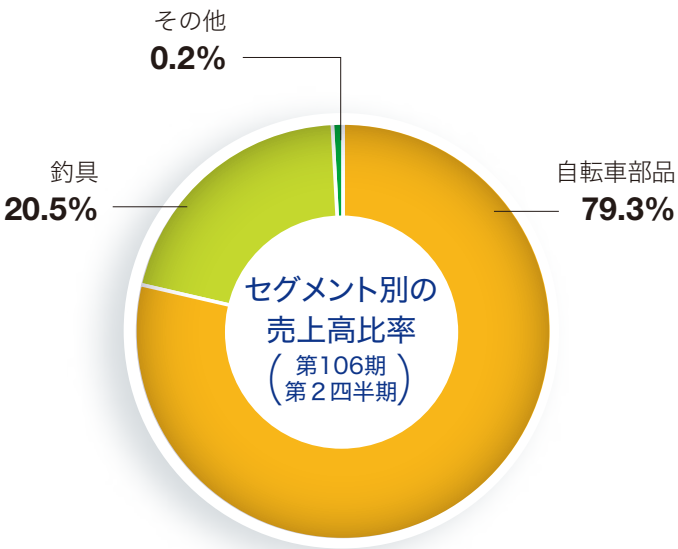
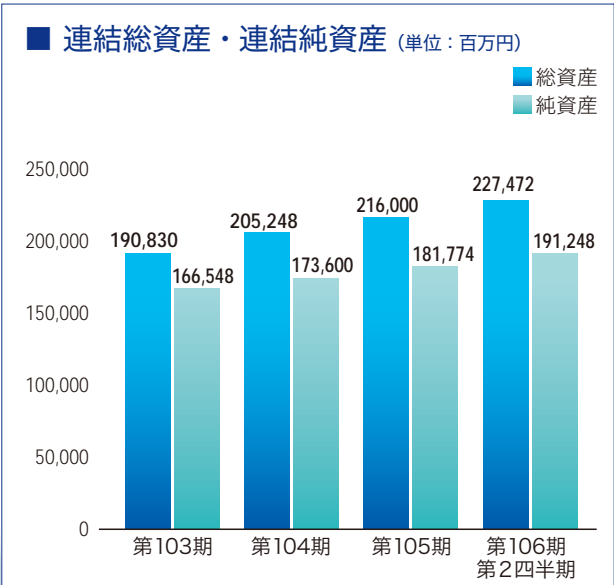
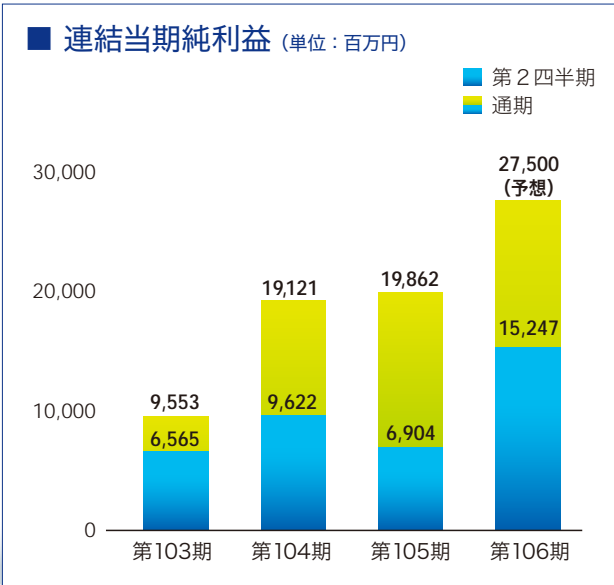
SHIMANO

第106期第2四半期連結決算ハイライト



■ セグメント別の売上高と営業損益の状況

	第106期 第2四半期	売上高 (単位：百万円)	増減率 (前年同期比)	営業損益 (単位：百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品		98,005	16.3%	20,352	41.8%
釣具		25,323	12.3%	1,596	57.3%
その他		230	△27.2%	△72	—%



トップメッセージ

事業の経過および成果

当第2四半期連結累計期間におきましては、欧州ではフランス大統領選挙でのオランド氏勝利からギリシャ総選挙における緊縮財政反対派の抬頭による再選挙等が、欧州諸国の財政再建等の行方にも大きく影響を与えました。その結果、足元の景気見通しについても一層悲観的な観測が広がることとなりました。

一方、国内におきましては、東日本大震災に伴う復興需要を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、為替相場が円高基調で推移したことや、電力供給不安など、企業を取り巻く環境は厳しい状況が続く結果となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は123,559百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は21,877百万円（前年同期比43.5%増）、経常利益は21,691百万円（前年同期比58.9%増）、四半期純利益は15,247百万円（前年同期比120.8%増）となりました。

自転車部品

主力市場である欧州では、春先以降、天候不順に見舞われたものの、小売店では昨年並みの販売を維持することができました。また、北米では暖冬と安定した春の天候により、販売は例年以上に好調な推移となりました。新興市場では、昨年来大きく伸びた中

国のスポーツタイプ自転車需要が、今年も力強い成長を継続しています。加えて、東南アジア、南米においてもスポーツタイプ自転車の需要が急増しており、当社製品は各市場から大きな支持をいただいております。一方、日本では、厳しい冬の影響を受けた低迷から脱することができないまま、小売店販売は低調に推移しました。

なお、欧米および中国における市場在庫は適正なレベルを維持しています。

このような状況のもと、当社からの出荷はほぼ予定どおり進み、マウンテンバイクコンポーネントの「SLX」やロードバイクコンポーネントの「SORA」、「Tourney A070」をはじめとする新製品の販売も順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は98,005百万円（前年同期比16.3%増）、営業利益は20,352百万円（前年同期比41.8%増）となりました。

釣具

国内市場では、例年にない大雪と寒波の影響で動きの鈍いスタートとなる一方、6月には8年ぶりに日本列島に上陸した台風などの天候不順も重なり、例年にも増して厳しい販売環境が続きました。

しかしながら、当社製品は、引き続き電動リール「Force Master」が好調な販売を推移するとともに、高級スピニングリール「Vanquish」やベイトキャスティングリール「ANTARES」などを中心とした新製品の受注も堅調に推移しました。また、ロッドにおいても新製品の船竿などが売上を伸ばしました。その結果、昨年同期を上回る売上高を上げることができました。

一方、海外市場では、欧州での販売が、政府債務問題の影

響による景気後退観測から先行き不透明感が一層強まり、引き続き厳しい状況が続きました。しかしながら、北米市場で春先の好天が好受注に繋がったことや豪州市場での販売活動が奏功して、昨年同期を上回る売上高を上げることができました。

この結果、当セグメントの売上高は25,323百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益は1,596百万円（前年同期比57.3%増）となりました。

その他

当セグメントの売上高は230百万円（前年同期比27.2%減）、営業損失は72百万円（前年同期は営業損失119百万円）となりました。

中間配当のご報告

当社グループは、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに、業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、今回の中間配当金につきましては、前年同期から7円増配の1株当たり37円50銭（うち特別配当31円25銭）とさせていただきます。なお、当期の年間配当額についても、前期から14円増配の1株当たり75円を予定しております。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ギリシャに始まる政府債務問題が南欧諸国に飛び火する中で依然として回復の道筋が見えない欧州

全域の景況観は停滞色を強めるところとなり、その影響を受けた新興国の経済成長の鈍化が懸念される状況となっています。

また、国内におきましては、東日本大震災に伴う復興需要により緩やかな景気回復の動きが期待されるものの、電力の供給事情や円高の進行による輸出競争力の低下など、予断を許さない状況が続くものと予測されます。

このような環境のなか、当社グループは、国内外の経済動向を注視しつつ、経営効率の更なる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

なお、平成24年4月24日に公表いたしました当期の連結業績予想につきましては、これを修正し、売上高240,000百万円、営業利益40,000百万円、経常利益40,000百万円、当期純利益27,500百万円とさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成24年9月



代表取締役社長 島野 容三

全土に自転車専用道を張り巡らし、国中の人々が自転車に親しむための環境が整うオランダ。シマノは、自転車発祥の地であるヨーロッパの中でも最先端の「自転車大国」に活動の拠点を置き、新しい自転車文化の創造に全力を尽くしております。

SHIMANO EUROPE HOLDING B.V. (SEH)の紹介

1972年、西ドイツのデュッセルドルフに自転車部品の販売拠点として設立されたシマノヨーロッパ。40年経った現在、ヨーロッパには、シマノの連結子会社が10か国に15社あります。そのヨーロッパグループの中心となっているのがオランダに事務所を構えるSEH。ヨーロッパで展開する自転車部品と釣具の営業会社を統括する会社です。

名 称: SHIMANO EUROPE HOLDING B.V.
所在地: Industrieweg 24, 8071 CT Nunspeet,
The Netherlands



現在のシマノヨーロッパとそのメンバー



1972年西ドイツに設立されたシマノヨーロッパのオフィス



自転車専用レーン

オランダでは、エコロジカルな自転車の活用を国を挙げてバックアップしている。自転車専用道や専用レーンなどの社会インフラ整備に取り組み、自転車通勤奨励企業への支援や、学校での安全教育も徹底。このため、自転車利用率は日本より高く、交通事故数も激減した。



自転車用の信号灯で待つ人

自転車用の信号機が設置され、街に独特の趣を与えている。自転車用の道路標識も各所に備え付けられており、中には、最寄りの町への方向と距離を示すものも存在する。



公共レンタル自転車制度「OVフィーツ」

各駅やバス停に駐輪場を設けるなど、公共交通手段との共生も加速している。目的地の駅から訪問先まで自転車で行けるように公共レンタル自転車制度「OVフィーツ」も導入し、オランダの国鉄では年間延べ100万回利用を目指して整備を推進している。国を挙げての奨励策に自転車利用人口は拡大し続け、次の課題である駐輪場の整備へと着手している。

シマノヨーロッパ40周年記念式典

2012年5月、40周年を迎えたシマノヨーロッパの記念式典がアムステルダム・コンベンション・ファクトリーで行われ、25か国から650名を超えるチームシマノのメンバーとその関係者が参加しました。ディナーやドリンクを楽しむ間には、ポートや釣り、自転車の競技が催され、またポーランドのダンス「ポロネーズ」やオランダの人気アーティストWaylonの演奏が披露されるなど、華やかなパーティーとなりました。



650名以上が参加し盛大に行われた記念式典の様子

トピックス 新興国におけるスポーツタイプ自転車市場の活性化

自転車の用途の多様化を背景に、新興国を中心とした全世界で自転車の販売が拡大しています。シマノでは、このトレンドを積極的に捉え、テクノロジーと感性を融合させたシマノ製品をお届けすることで、世界中の人々が自転車に親しむ文化の創造に努めています。

自転車市場の成長著しい新興国

中国

中国市場では、安定した経済成長を背景とする所得の向上と政府の自動車削減政策を背景に、国民の間でも健康志向・環境志向が高まり、自転車市場は交通手段からレジャー用途への転換期を迎えています。なかでも変速機のないタイプから変速機付きタイプへとシフトする過程で、オンロードでもオフロードでも走行できるマウンテンバイクに人気が集申し、スポーツタイプ市場が急成長しています。シマノでも、シマノ上海セールスによる従来からの活動を土台に、Shop in ShopやReliabilityキャンペーンによる積極的なプロモーション活動を展開し、スポーツタイプ自転車の認知浸透に努めています。

シマノの取り組み

Shop in Shop（店中店）

Shop in Shopとは、自転車販売店様に専用コーナーを設け、シマノ製品を展示しているところです。そこには、シマノ社員が常駐し、どの車体との組み合わせがよいかなど、自転車販売店の店員様と一緒に消費者様にアドバイスしています。

SSC-P(Shimano Service Center Premium)

シマノ上海セールスでは、サービスセンターに來られた自転車販売店の店員様に対し、テクニカルトレーニングを受けてもらうサービスを提供しています。その結果、正確な製品の知識を身につけてもらうことで、自転車販売店様にシマノ社員が常駐するShop in Shopと同等の高品質かつ信頼性の高いサービスをお届けすることを目指します。この取り組みが、シマノ製品への信頼につながり、中国市場での高い評価に結びついています。

南米

ブラジルを中心とした南米市場でも、経済成長を背景にした所得向上から、交通手段としてだけでなくレジャー用途やファッション用途としての自転車活用機会が拡大し、従来の低価格帯でのスタンダード製品に加えてハイエンド製品も受け入れられる土壌が整ってきました。同市場では、以前よりシマノラテンアメリカが流通網の整備やディーラー教育、テクニカルセミナーによる普及啓蒙活動を徹底させてきており、この成果を基にShop in ShopやNexusキャラバンの活動を積極展開することで、一層の販売拡大を図っています。



シマノ製品が並ぶShop in Shop



自転車販売店様に発行されるSSC-P認定書

Reliabilityキャンペーン

Reliabilityキャンペーンとは、シマノ製品を使用してもらうことで自転車の製品品質向上をアシストする活動であり、主に東欧諸国や中国で展開しています。完成車メーカー様に対しては技術的サポートを行い、消費者様にはメンテナンスブック、自転車販売店様にはポスターやサービスマニュアルなど多様な販促物を用意して自転車の販売をアシストしています。



完成車メーカー様に対する講習会

Nexusキャラバン

Nexus（内装変速システム）は、変速機構を内蔵化することで雨や泥等の影響を受けにくく、停止中でも変速が可能であるなど、日々の生活のなかで快適に自転車に乗るために適したシステムです。シマノラテンアメリカでは、このNexusを多くの方々に知ってもらうための活動を行っています。その一例として、Nexusを装備した自転車を通学用としてブラジルサンパウロの中学校に寄贈し、多くの生徒に好評を得ています。



Nexusを装備した自転車に乗る学生たち

■ 製品紹介

スポーティーな走りと使いやすさを提供するプレミアム内装ハブギアコンポーネント

SHIMANO
ALFINE

「ALFINE」には、内装11段仕様がラインナップされています。8段仕様から34%もワイドになったギア比を提供しつつ軽量化を実現。ギアチェンジサポートメカニズムは優れた変速性能を実現し、さまざまなシーン、地形でお使いいただけます（内装特有の停止時の変速も可能）。ヘリカルギアとオイル潤滑構造の採用はスムーズな回転を実現し、軽快な走りを提供します。マウンテンバイクの上位モデルと同じ構造の変速レバーは最高のスポーツ変速操作を実現し、スポーツ心を満たします。オイル潤滑構造は、耐久性の向上も実現し、さらなるローメンテナンスを提供します。一般の方が長く、安心して使える新しいタイプのスポーティーコンポーネントです。



中国および東南アジアでの釣具市場拡大にともない、シマノではこころ躍る製品づくりやプロモーション活動を通じて、より豊かなフィッシングライフの提案活動を積極的に展開しています。

成長著しいアジア市場

中国およびマレーシア、インドネシア、タイなどの東南アジア各国において、釣りはレジャーとして認知されるようになり、市場は毎年堅調に拡大しています。

そして、東アジア市場のなかでも特に中国市場の伸びには目覚ましいものがあります。太公望の時代から釣り文化に親しんできた中国では、多くの人々が手軽なレジャーとして、へら釣り、鯉釣り、ルアー釣りなどを楽しむ姿がますます増えています。

また、東南アジアでも日本の最新の釣法が紹介されており、当社の日本市場向けに開発されたモデルも大変人気があります。

高機能かつ高品質な日本の釣具は、アジア各国の愛好者からも大きな信頼を受けており、シマノ製品は特にアジア各国の上級アングラーから絶大な支持を獲得しています。

近年中国で注目されているルアー用の人気釣具



ルアー用リール
「アンタレスHG」



ルアー用釣り竿
「ポイズングロリアス」

中国伝統のへら・鯉用の人気釣具

へら・鯉用釣り竿
「極仙風(きよくせんふう)」

シマノの取り組み

シマノコーナー

アジア市場の安定した成長と今後の拡大を見込んで、シマノシンガポールとシマノ上海セールス内に釣具セールス部門を開設・拡大し、販促活動を強化しています。その活動のひとつとして、アジア各国の有力特約店舗内にシマノ製品拡販のための「シマノコーナー」を設置しています。専用コーナーを設けることで、シマノブランドの認知度を高め、さらなる販売促進を狙います。

このシマノコーナーは、お客様が製品を直接手に取って、品質や使い心地を体験していただける場としても活用いただいています。

中国においては、2012年度中に沿岸部大都市圏の8店舗に設置を予定し、2013年以降は逐次内陸部にも設置店舗を拡大していきます。



釣り大会

中国での釣り大会の開催は、シマノ製品愛好家の交流の場のひとつとなっており、毎年多くの参加者で賑わいます。この大会は、年に数回開催され、主にへら釣りや草魚釣りを行っています。



■ 製品紹介

マグナムライトローター搭載の 超高感度モデル

Vanquish

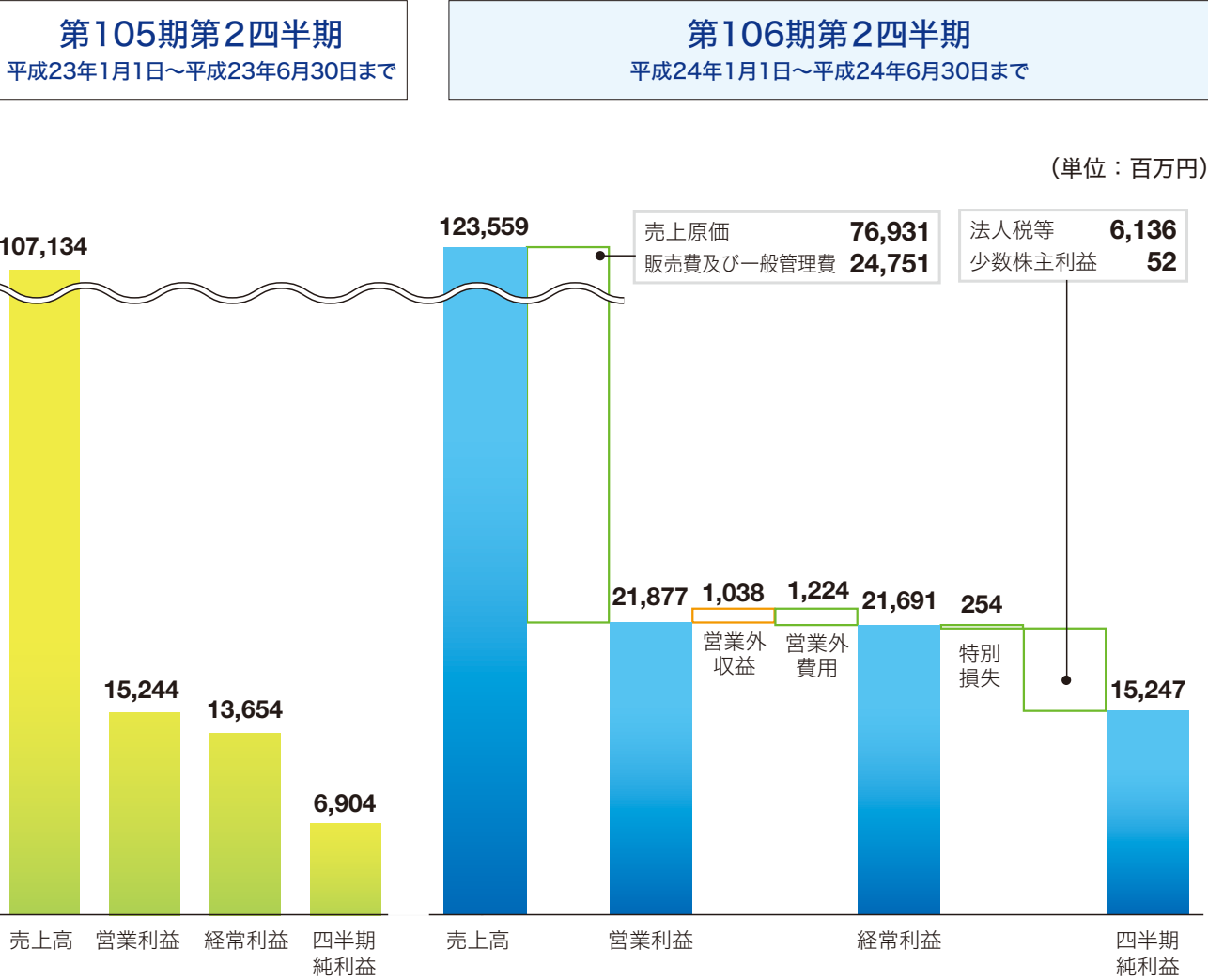
慣性や始動トルクの大幅な向上をもたらすマグナムライトローター。超軽量&高感度のボディから伝わる、強靱な手応え。スピニングリールの新たな歴史が、ここから始まります。

シマノ史上最軽量のマグナムライトローターと専用設計されたAR-Cライトスプールを搭載したヴァンキッシュは、リーリング初期の軽い回転の立ち上がりやリトリブ中のわずかな抵抗さえキャッチする、ダイレクトな高感度を実現します。さらに、心臓部にはステラと同様のX-SHIPを、ボディ素材にはSuper Mg Bodyを採用し、軽量な上に剛性感を兼ね備えた信頼性を確立。“慣性を生かしたシルキーなフィーリング”とともに、すべてが研ぎ澄まされたスピニングリールの醍醐味をユーザーに提供します。

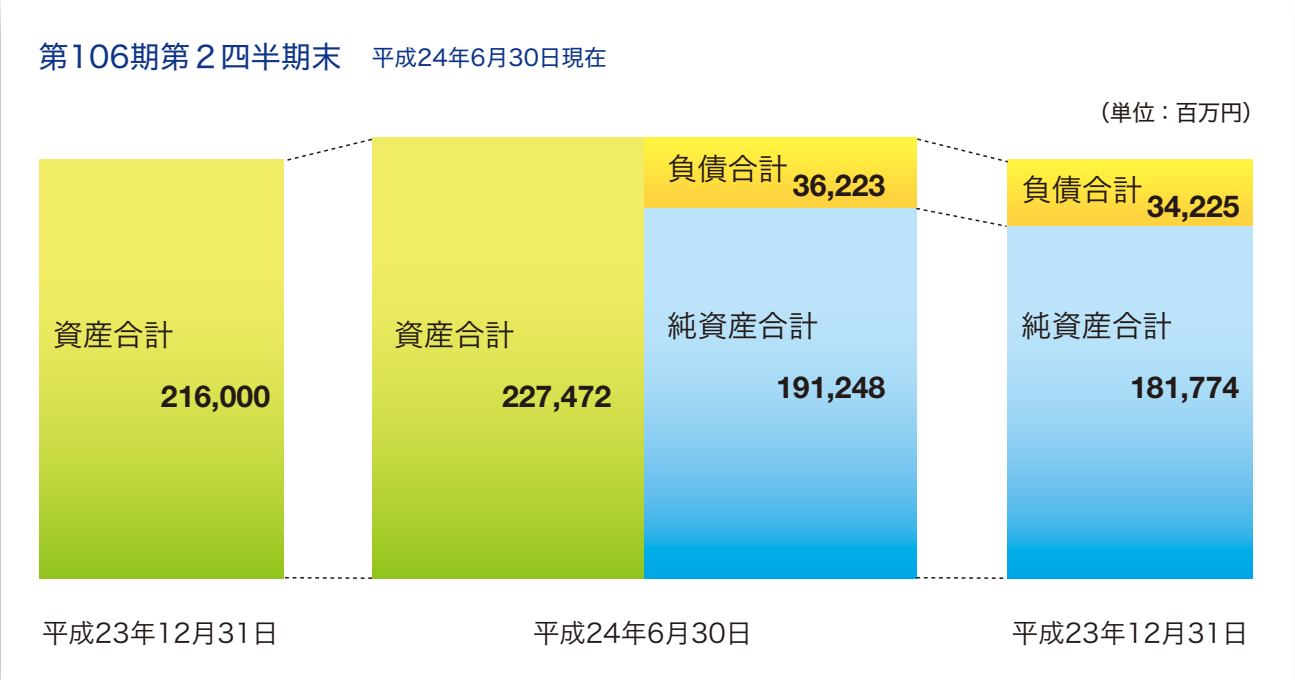


財務ハイライト

■ 連結損益計算書（要約）



■ 連結貸借対照表（要約）



第106期予想（連結）

	業績予想		セグメント別売上高予想
売上高	2,400 億円 前期比 8.2%増	自転車部品	1,936 億円 前期比 9.2%増
経常利益	400 億円 前期比 26.2%増	釣具	460 億円 前期比 4.8%増
当期純利益	275 億円 前期比 38.5%増	その他	4 億円 前期比 30.8%減

株式情報 平成24年6月30日現在

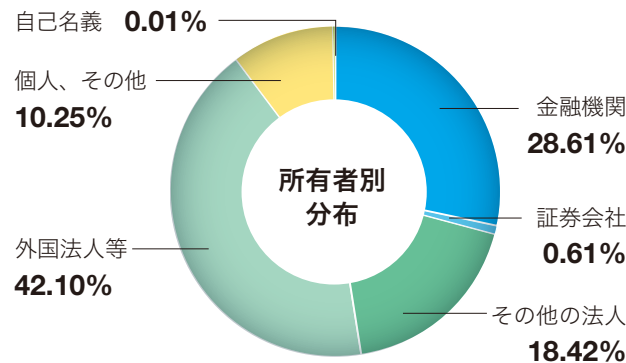
- 発行可能株式総数 262,400,000株
- 発行済株式総数 92,720,000株
- 株主数 7,163名
- 単元株式数 100株

大株主(上位10名)

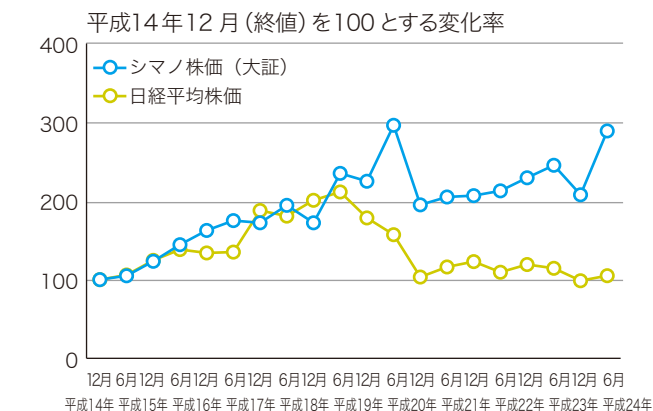
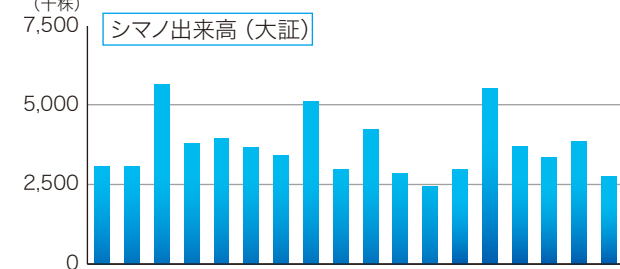
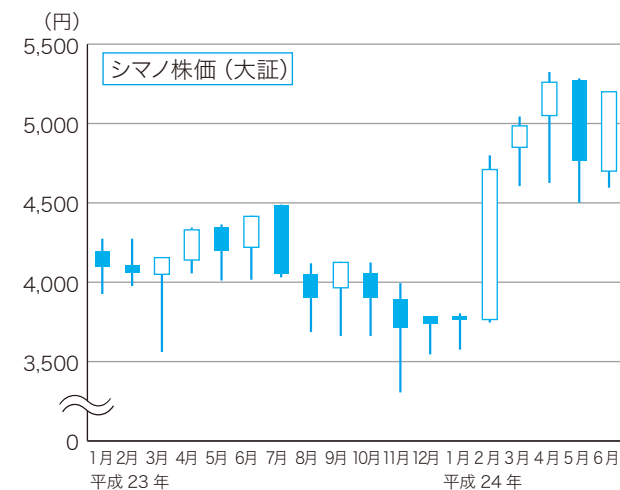
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	12,605	13.60
湊興産株式会社	7,400	7.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,118	4.44
太陽工業株式会社	4,040	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,587	3.87
日本生命保険相互会社	2,623	2.83
CBNY-CHARLES SCHWAB FBO CUSTOMER	2,620	2.83
株式会社スリーエス	2,171	2.34
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS	2,122	2.29
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,066	2.23

(注)持株比率は自己株式(12,741株)を控除して計算しております。

構成比率



株価チャート



会社概要 平成24年6月30日現在

社 名 株式会社シマノ

英文社名 SHIMANO INC.

創業年月 大正10年(1921年) 2月

設立年月 昭和15年(1940年)1月

資本金 35,613百万円

事業内容 自転車部品、釣具、冷間鍛造品およびロウイング関連用品等の製造販売

本 社 〒590-8577
大阪府堺市堺区老松町
3丁77番地

U R L www.shimano.com

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 3月下旬に開催いたします。

基準日	期末配当金	毎年12月31日
	中間配当金	毎年 6月30日

單元株式数 100株

公告方法 電子公告

当社のホームページに掲載いたします。
([http://corporate.shimano.com/
financial/](http://corporate.shimano.com/financial/))

ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

役員

代表取締役社長 島野 容三 取締役 津崎 祥博

代表取締役 老 健 取締役 豊嶋 敬

取 締 役 人 見 康 弘

角谷景司 取締役 森田 孝 取締役 森田 孝 取締役 森田 孝 取締役

堂 務 取 締 役 渡 会 悦 義 取 締 役 松 井 浩

堂 務 取 締 役 和 田 伸 司 社 外 取 締 役 一 條 和 生

取 締 役 湯 浅 哲 常 勤 監 査 役 谷 野 俊 典

取締役 平田義弘 常勤監査役 島津孝一

取 締 役 勝 岡 秀 夫 社 外 監 査 役 辻 中 榮 世

取締役 島野泰三 社外監査役 松本五平

潔 谷 樽 役 締 取

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 照会 先  0120-176-417

ホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

証券コード 7309